

<題材名> 保健体育「体づくり運動」

<内容> ボール投げ

<使用アプリ> ロイロノート

<事例紹介> 基本的な投動作や安定したボール操作を身に付け、「投げる」ことに対しての苦手意識を少しでも軽減させることを目標としている。基本的な技術練習の場面では、仲間の姿を観察したり、客観的に動き方を捉えたりすることが容易にできるようICTを活用した。

【バスケットボールを使った動きを撮影】



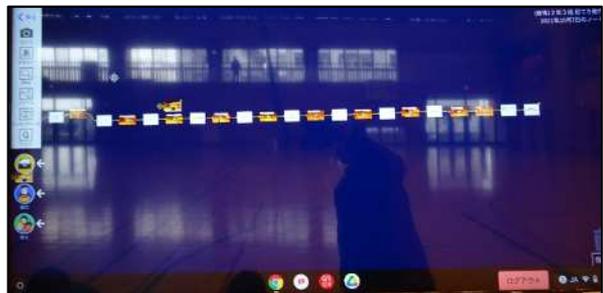
【撮影した動画を基に話し合い活動を実施】



【評価した内容をお互いに伝え合う】



【提出された動画やシートを全体で共有】



<授業を終えて>

ICT機器を活用することで、班の仲間と互いに分析し教え合おうとする協調性を高めることができた。特に、自身の記録や撮影した自分の姿を見て、仲間と協力して改善の仕方を見つけたら、自分に合った投動作を実践し、今後の体力向上につなげたりすることができた。

<本校のICTを活用したその他の取組>

①特別支援学級における生活単元の活動をカレンダーに記録

【活動の様子を写真とともに記録】



【生徒相互に感想記入・閲覧が可能に設定】



②Google Workspaceを使った生徒総会

【生徒会立候補者演説会の様子】



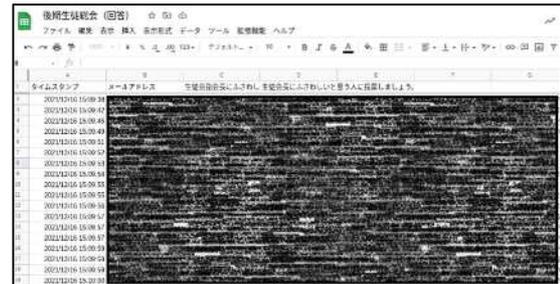
【演説を待つ生徒会立候補者】



【Formsを使った電子投票】



【スプレッドシートを利用した集計】

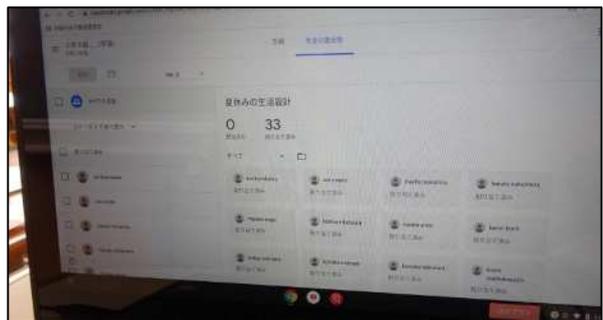


③オンライン参観日

【オンライン参観日の様子】



【課題を配付し、回収】



④創作ダンス<保健体育>

【ロイロノートで創作ダンスを提出】



【回答共有機能で閲覧し、相互評価】



1年生ではスライドを利用した「ものづくり講座」のまとめ、2年生ではドキュメントを使った「職場体験学習」の新聞づくり、3年生ではロイロノートを利用した「デジタル卒業文集」の作成など、様々な場面でICT活用が行われています。

(教育委員会主幹講評) 1人1台端末が整備され1年が経過しました。この間、児童生徒と教職員のICTスキルも格段に向上し、この事例のように様々な教育活動でChromebookが有効活用されるようになりました。今ではChromebookは文具として、深い学びを支えるツールとして学習にはなくてはならないものになりつつあります。今年度も残り1か月になりました。卒業文集や1年間の学習のまとめなど、まだまだICTの有効活用の機会は工夫次第では数多くあります。素敵な締めくくりをお願いします。